



セミナー通信

説明できる？
アベノミクス

3本の矢

- ①金融緩和
- ②財政政策
- ③成長戦略

さて、その内容？

26年度 教採出願受付始まる

近畿の1次試験は7月21日に集中

26年度教員採用試験の日程がホームページ上で公開されている。それによると、一次試験の最も早い実施地区は関東の7月14日。以下、中部7月20日、中国・四国・九州の概ね7月2日過ぎと思われ。尚、兵庫県は例年5月10日前後に、詳しい要項が発表される。

★体罰に関する文科省通達

各自自治体の選考試験は、毎年若干の変更点があるため、公表された募集要項でその内容を確認しておく。兵庫県の一次試験における一般教養では、「英語の運用力をみる問題」「情報機器の利用についての問題」の他に、今年から「教職教養」が導入される。また、面接では時事問題、とりわけ教育時事に関する設問が多い。いじめ問題や体罰は喫緊課題であり、今年出題される傾向が高いと思われる。

平成24年12月、大阪府立桜宮高校で、教師から体罰を受けた生徒が翌日に自殺した事件を受け、教師による体罰事案が大きな社会問題に発展してきた。そのため、文科省は平成25年3月に「体罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について」と題し、全国の教育関連機関に通達を發した。本通知では、体罰禁止の徹底を確認すると共に、学校教育法第11条で規定する児童生徒の懲戒・体罰等について、参考事例が具体的に記述されている。その中で、認められる懲戒(ただし肉体的苦痛を伴わないものに限る)には、「放課後等に教室に残留させる」「学習課題や清掃活動を課す」「授業中、教室内に起立させる」「学校当番を多く割り当てる」等が記載されている。(上記抜粋内容を参照)

※文部科学省通知より抜粋

- 体罰(通常、体罰と判断される行為)
- 身体に対する侵害を内容とするもの

- ・体育の授業中、危険な行為をした児童の背中を足で踏みつける。
- ・給食の時間、ふざけていた生徒に対し、口頭で注意したが聞かなかったため、持っていたボールペンを投げつけ、生徒に当てる。

○肉体的苦痛を与えるようなもの

- ・放課後に児童を教室に残留させ、児童がトイレに行きたいと訴えたが、一切室外に出ることを許さない。
- ・宿題を忘れた児童に対して、教室の後方で正座で授業を受けるように言い、児童が苦痛を訴えたが、そのまま姿勢を保持させた。

※その他具体的事例は原文参照のこと。

具体的事例について確認し、文ページ等で通知ムペーシ等では、ホーが記載されている。詳細は、(安富悠介)

★教育法規の重要性

7月の教員採用試験もだんだんと迫ってきた。講義の合同を利用して参考書を片手に勉強している学生も多い。そんな学生の多くが避けては通れないもの、それが「教育法規」である。多くの自治体で、教育法規は何らかの形で出題される。でも、法律の条文はなかなか頭に入らないという人も多いだろう。では、いったいどうすれば教育法規をより簡単に覚えて理解することができるのか。今年から始まったセミナーでの学びが答えを出してくれる。みんな頑張ってマスターしよう。

教採に頻出! (基本の法規)
①教育基本法
②学校教育法
③学校教育法施行令
④学校教育法施行規則
⑤地方公務員法
⑥教育公務員特例法
⑦地方教育行政の組織及び運営に関する法律
⑧学校保健安全法
⑨著作権法
⑩児童虐待の防止等に関する法律

★教員に必要な「3本の矢」

教員には、「教員ノミクス」とも言うべき3本の矢が必要だ。それが、教員採用試験の二次試験で試される「教師力」である。その1本の矢は、「授業力」である。これは「模擬授業」により評価される。自分の授業スタイルを確立することがポイント。2本目は、「学級経営力」だ。担任としての、説明責任、経過責任、結果責任が問われる。3本目の矢は、「生徒指導力」。「場面指導」「ロールプレイング」で試される。圧迫面接に対応できる力量をつけたい。いづれも、教員として必要な「実践力」が試される。

★教育時事をチェック

4月24日、4年ぶりに小学6年生と中学3年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」が、国語と算数(数学)の2教科で実施された。今年度は、これまでの苦手分野が集中出題されたようだ。翌25日には、中央教育審議会が、2013年度から5年間の教育行政の指針となる教育振興基本計画の原案を答申した。その中で、「6.3.3.4制」の学制の見直し、道徳教育の充実、いじめ防止策の徹底、大学院の機能強化、欧米主要国を上回る質の高い教育の実現が提言された。共に、チェックしておこう。



▼院生の声

◆この欄は、皆さんの質問・要望・感想を取りあげ、P生が創りあげるコーナーです。第一回目は、小学校教員養成特別コースのP1生に学校生活での疑問を聞いてみました。

Q 教員免許を取得してないため、指導案の書き方や教材研究の方法がわかりません。各教科の指導案を見られるところはありますか？

A 残念ながら、閲覧できる場所はありませんが、ネット上で公開されていることがあります。また、頼めば快く助言してくれる先輩が多いのもこのコースの特徴です。気軽に声を掛けてください。もちろん、教育実習総合センターの先生方も経験豊富なプロの先生です。丁寧に指導いただけますよ。

Q P1の時にやっておけば良かったと思うことは何ですか？

A 時間に余裕のある前期には、学校ボランティアに参加して、少しでも小学校生活に馴染むことが大切ですね。また、バイトしてお金を貯める、近隣の名所を訪ねて知見を広める、水泳・ピアノの練習、字の書き順をチェックする、板書練習、読書、車の免許を取得する…挙げればキリがありませんね(笑)

◆P1は、やる時はやる。抜く時は抜く。元気で個人的なメンバに揃うように。早く、いい人間関係を築いてください。話を聞いていた私も、何だかやる気が伝わって来て、刺激を受けました。次回はP2生の質問を募集いたします。(大田靖子)